

平成20年度

番号	受付年月	意見の概要	対応 取組み状況
1	20年 4月	自然情報室が真っ暗で見えなかった。	自然情報室は常に明るいので、ジオラマのことではないかと思う。当面様子を見たい。
2	20年 5月	射的とモグラたたきのセンサーが悪くてやりにくかった。	毎朝チェックして速やかに直すようにしている。
3		常に木の枝などで自由に創作できるコーナーがあるとよい。	内容は常設でできる簡単なものになってしまいが、GWや夏休みにはいつでもつくれるコーナーを設置している。
4		臭い。	換気できるときは窓を開けるなどして換気する。
5		外にアスレチックがあるとよい。	展示等工夫できるところは工夫していく。アスレチックは、安全管理の問題もあり、すぐには実現困難と思われる。
6		遊ぶところを増やして欲しい。	
7		ジオラマについて、夜は必要ない。暗くて見えない。	普段は見る機会のない夜の森の様子を再現している場所があるので、今後も夜の時間は残していきたい。
8	少し怖い。		
9	20年 6月	保育園や学校を通してイベントを紹介してもらえれば利用する。	県東部の小学校、利用のあった保育園等にはチラシを配っている。今後もなるべくたくさんの人にイベントを知ってもらえるよう努力していきたい。
10		モグラたたきの棒が1つしかない。	この棒はすぐに壊れてしまい、また、1人ずつ利用されることが多いため1本ずつ出すようにしている。
11		シアターはいつでも好きなときに見られるようにして欲しい。	節電と機械の磨耗を防ぐため時間を決めて上映している。(団体利用者にはリクエストされた時間に上映している。)
12		ジオラマのカメラが暗くて見づらい。	大がかりな機械、設備として作られているため、改修は困難だが、「ジオラマ探検隊」など職員による案内も試行しているところである。
13	20年 7月	花瓶の花が枯れていて汚らしい。	取り除いた。朝夕の点検でチェックしていきたい。
14		ジオラマに5歳の娘が怖がって入ろうとしない。	昼と夜があることを表示したり、キッズコーナーやエントランスで楽しめる工夫をしたりしているが、引き続きよい方法を検討していきたい。
15		岡山に告知がない。お出かけブックとかに載せて欲しい。	予算の都合もあり、大々的な広報は困難だが、「岡山県自然保護センター」等へチラシ、機関紙の送付を行っている。
16		クイズラリーの数がもっとあったらよい。	徐々に増やす予定である。
17	20年 8月	もっと展示物を増やした方がよい。	館内の手作り展示を随時増やしていきたい。
18		イーグルスカイシアターが見られなかった。	機械の消耗とお客様の入り込みを考慮し、平日は1日2回、土日は1日5回の上映としている。HPへの記載により上映時間の周知を図りたい。

平成20年度

番号	受付年月	意見の概要	対応 取組み状況
19	20年 9月	エントランスホールが雑然としすぎ。	来館者の反応を見つつ、展示方法を工夫する。
20		イーグルスカイシアターが見たかったが、時間の都合で見られなかった。	機械の消耗とお客様の入り込みを考慮し、平日は1日2回、土日は1日5回の上映としている。HPへの記載により上映時間の周知を図りたい。
21		スズメバチのせいで玄関が閉鎖されていたが、ついでにスズメバチの展示もしたらよい。	今後、同じようなことがあれば、是非展示したい。
22		PR不足。兵庫県ですら知っている人が少ない。	予算や機会を活用しながら県外広報を実施する。
23		館内の案内板が見辛いものがある。	館内を点検し、改善に取り組む。
24	20年 10月	イベント「国定公園の山に登ろう」について、もう少し人数が多てもよいのでは？とてもよい企画なのにこの人数ではもったいない。	「人では不安」という人に登山の仕方が分かるようにアドバイスする企画として行っている。この企画はボランティアが考えたものであり、企画者の思いを大事にしたいので少人数で行いたい。
25		ツリーイング体験会について、もう少し安く参加できないか。	ツリーイングの機材使用料、保険代の実費で行っており、ご理解いただきたい。
26		ツリーイング体験会について、大人も参加したい。	使える木の本数が限られていたため、子ども優先とした。今後、多くの人に参加できるようにやり方や場所を検討する。
27	20年 11月	ノームのところで調整中が目立ち残念だった。	毎朝点検し、できる限り迅速に修理するよう対応する。
28		山頂でキャラボク等の説明があるとよかった。	希望を聞いて、時間に余裕があれば取り入れてみたい。
29		人数が多くて楽しいが、その分、時間がかかるのでコースを分けてはどうか。	気軽に参加してもらえよう、当日受付としているため、事前に講師、スタッフを増やすことができない。ただ、人数が多いときはできるだけ皆が話を聞ける場所を選んで解説したり、点呼を2グループに分けてとったりするなどして対応しているところ。
30	20年 12月	特になし	
31	21年 1月	特になし	
32	21年 2月	観察の内容をもっとバラエティの富んだものに。	今後も内容を工夫して改良していきたい。
33	21年 3月	特になし	